

1. 「ゲノム編集」作物が開く未来の可能性

講師 岡山大学資源植物科学研究所 准教授 久野 裕



醸造用大麦は発芽しやすい

「ゲノム編集」によって「穂発芽」に関わる遺伝子を改変

DNA配列の書き換え



ゲノム編集された大麦は発芽が抑制されている



「ゲノム編集」は、生物が持つDNA配列を切り張りして改変する技術で、医療・農業など多くの分野で活用されています。例えば、発芽しやすいように品種改良された醸造用の大麦は雨に当たると収穫前に発芽してしまいますが、ゲノム編集技術を用いれば発芽を抑制して品質の低下を防ぐことができます。ゲノム編集技術にはどのような可能性があるのでしょうか。今回はゲノム編集の基礎から解説しますので、一緒にゲノム編集作物の未来について考えましょう。

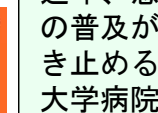
2. 遺伝子パネル検査とは？ —がんゲノム医療最前線—

講師 岡山大学病院ゲノム医療総合推進センター 准教授 富田 秀太



資料：ひと目で分かるがんゲノム医療の流れ
<https://www.genomicx.net/> で公開中

動画：ひと目で分かるがんゲノム医療の流れ
YouTubeで公開中



近年、患者さんの遺伝子を解析し、疾患予防や治療に活用するゲノム医療の普及が急速に進んでいます。一度に複数の遺伝子を調べ、その異常を突き止める「遺伝子パネル検査」は健康保険が適用されることとなり、岡山大学病院でも既に運用が始まっています。遺伝子パネル検査の仕組み、課題、そして未来のゲノム医療についてお話をさせて頂きたいと思っております。

★オンライン(ZOOM)開催 参加者募集

※今回はオンライン開催となります。参加者には、申し込み締切り後に、Zoomの参加用URLをお知らせします。

- ◆開催日時 2020年9月29日(火) 午後6:00~7:30 ◆会場 オンラインにて開催
- ◆申し込み方法 岡山大学研究推進機構HP 申し込みフォームまたはEメールにて、お申し込みください。
【申し込みフォーム】 http://www.orpc.okayama-u.ac.jp/event/sciencecafe_02.html
【E-mail】 sciencecafe@okayama-u.ac.jp (氏名、電話番号、メールアドレスをご記入ください。)
- ◆申し込み締切り 2020年9月28日(月)午前10時
- ◆参加費 無料 ◆定員 300名 ◆問合せ先 吉田・松田 TEL 086-251-7112

社会人及び学生・生徒さんどなたでもご参加ください